

科目区分	専門基礎分野	履修学年	1年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	病態学 IV			担当教員	外部講師		
使用テキスト	1) メディカ出版 EX 疾患と看護 ⑤脳・神経 2) メディカ出版 EX 疾患と看護 ⑦運動器						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 系統看護学講座 成人看護学【2】運動器		医学書院				
	2) 系統看護学講座 成人看護学【2】脳・神経		医学書院				
授業の概要と到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>本科目は既習科目である解剖生理学を土台に、疾病を持つ人のアセスメントや治療・検査時の看護につなげられるように学習する。</p> <p>解剖生理学Ⅲ(動く)を基に運動器の疾病,脳・神経の疾病の2つの構成から成る。</p> <p>また、病態学Ⅲで既習した感覚器の感覚機能を情報とし、脳が判断、神経系を通じて身体が反応する過程のどこかが障害されることで起こる症状について学ぶ。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動器に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。 2. 脳・神経に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。 							
評価方法	筆記試験 提出物						
備考	関連科目：自然科学(生物学),生化学,解剖生理学,薬理学						

回数	授業計画 学習内容	備考
1 2 3 4 5 6	<p>運動器系の疾患</p> <p>先天性股関節脱臼、骨粗鬆症、骨折・脱臼、骨髄炎、骨肉腫、脊髄損傷、椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、半月板損傷</p> <p>運動器系の疾患を診断する主な検査</p> <p>X線検査、R I検査、各種造影、筋電図、視診・知覚検査、関節鏡</p> <p>運動器系の疾病の主な治療</p> <p>手術療法、リハビリテーション、装具（牽引、ギプス固定）義肢</p>	外部講師
7 8 9 10 11 12 13 14	<p>脳神経系の疾患</p> <p>脳梗塞、脳内出血、脳動脈瘤、クモ膜下出血、モヤモヤ病、脳腫瘍、パーキンソン病 多発性硬化症、認知症(アルツハイマー型、脳血管性、レビー小体型)、頭部外傷、髄膜炎、脳炎、筋萎縮性側索硬化症(A L S)、筋ジストロフィー、重症筋無力症、頭蓋内圧亢進症、ギランバレー症候群</p> <p>脳神経系の疾病を診断する主な検査</p> <p>脳血管造影、C T、MR I、腰椎穿刺、神経学的検査</p> <p>脳神経系の疾病の主な治療</p> <p>血栓溶解法、動脈瘤塞栓術、開頭術・穿頭術、血管バイパス術、脳室ドレナージ、 V-Pシャント、リハビリテーション</p>	外部講師
15	終講試験 まとめ解説	